

第3回生野小学校 学校跡地検討会議 開催概要

1 開催日時

令和2年3月24日（水）19時00分～19時50分

2 開催場所

生野区役所 5階 502会議室

3 出席者

- ・委員：浮田委員、鬼頭委員、寺田委員、中崎委員、西村委員、堀越委員、米川委員
- ・区役所：山口区長、櫻井副区長、杉本まちづくり推進担当課長、大川地域活性化担当課長、井平安心まちづくり担当課長、竹中担当係長、澤見係員
- ・(株)セミコロン：嶋田氏、藤野氏

4 会議内容

(1) 区長挨拶

(2) 検討会議資料説明

- ・今後のスケジュール
- ・活用計画（案）の主な項目の説明

(3) 意見交換

- ・教育機関が入るといって、学校全棟使用するほどの生徒数がある教育機関はあるのか。半分程度の利用になれば地域との折衝等も大変になるのではないかと。
⇒市場性の有無について確認後、またご説明の場を設けようと思っている。事業者が決まれば地域との協議体を作り、運営について協議するようにする予定である。事業者がいるのかどうかは市場性を見ないと分からないところではある。なお、生徒数について、学校によっては幼稚園から中学生まで等が1施設に入っている学校もある。
- ・事業者求められる要件として「校舎周辺エリアの特徴を踏まえ生野の魅力を発信できるもの」とあるが、教育機関が入った場合、魅力を発信できるのか。
⇒教育機関であれば地域に人が増え、地域と一緒に教育機関を作っていこうとするのでそういう意味ではエリアの活動を一緒に発信ことになると考えている。地域の方も習える講座や生徒も講座に通うなど地域とのつながりも作れると思っている。なお、大前提の防災機能や求める要件を押さえていただければ他の事業者が入る可能性はあると思う。

- ・周辺エリアの特徴は何と行政は考えているか。
⇒周辺との連携はまちづくりの観点で大事だと思う。生野小学校区であれば、これから義務教育学校ができていく中で、そことの連携がうまくできればと考えている。イメージだけであるが教育機関同士が連携を行うなどそういった波及が見込めたらと良いと考えている。
- ⇒昨年行った参画エントリー会議ではインターナショナルスクールが参加されており、実際に大阪での開校に興味を持たれている。教育機関が入ると学校の近くに住みたいという方も出てくると思うのでそこを狙っていきたいと考えている。
- ・インターナショナルスクールは良い話だと思う。
- ・跡地活用に際して、違法駐車、ポイ捨て等何かあった場合の責任は行政が持ってくれるのか。
⇒景観や騒音対策等については公募要項に含めていく。事業者は地域の意見を聞きながら対応していく運営としていくつもりである。きちんとやっていく。
- ・地域的に交通の便が悪いので事業者が入るのは難しいのではないかな。
⇒教育機関が入るのであればスクールバスの運行等も考えられる。
- ・公募要件は公募前に見せてほしい。地域に迷惑がかからないようにしてほしい。
- ・決定前に地域に情報を流すようにしてほしい。心配事はクリアにするように。
- ・人の流れが変わると思われるので地域の意見を重要視してほしい。
⇒事業者からの地域説明会等をしっかりさせていただく。
- ・地域と一緒にやってくれるような事業者が入ってくれば良いと思う。
⇒事業者決定以降、事業者と話せる場を作っておくことが大事と思っている。